

# 学校だより 三和中 JUMP

三和中学校 184



## 卒啄同期

卒啄(そつたく)・・・禅宗で期を得て両者が相応じること。逃してはならないよい時期。「卒」は鶏卵が羽化しようとするとき、殻の内でひなが鳴く声。「啄」は母鶏が外から殻をかむこと。(岩波国語辞典)と、辞典に載っています。ひなが今まさにかえろうとしているとき、その卵を抱いているお母さんに殻の内から「ぴよぴよ」と声を出しうごめいて“お母さん、この殻割って”とサインを送ります。この瞬間を見逃すと、ひなは殻の中で死んでしまうこともあるそうです。その一瞬を逃さずに瞬時にお母さん鶏は殻をつつき、割ってひなを出やすいようにしてやり、無事誕生！を迎えます。

子どもの教育もこのようなタイムリーな対応がとても大切だとよく言われます。子どもが頑張ったらしっかりほめる、良くない行動はきちんと叱る、悩んでいるときは話を聞いてあげる、アドバイスをする・・・

“同期”をどうつかむか、それが教育のポイントのようです。

## 5月7日(土)、8日(日)第45回糸満市中学校体育大会がありました



野球部 優勝！報告(校長室にて)

ゴールデンウィーク明けの両日、糸満市内の各会場で各中学校対抗の市内大会がありました。男女バスケット、男女バドミントン、野球、サッカー・・・大会の中で生徒がみせるどの顔も、普段教室で見ることのないものです。試合前までジッと静かにしていたのに、試合が始まると思いっきり声を出して動き回る生徒、離れた点差を気にせず最後まで相手に食らいついていくチーム、ベンチでチームメイトのためにサポートを尽くす後輩、そして応援席で一喜一憂する保護者の皆さん。まだまだコロナ禍ではありますが、少しずつですが、コロナ禍前の活気が学校活動に戻ってきているのを感じました。お疲れさまでした。

本番は、地区中体連。3年生にとっては中学校部活動の集大成です。コロナ感染症予防は常に心掛けながら、最高のパフォーマンスができることを祈念します。

三和中部活動生、頑張れ！

### 【各部の試合結果】

野球 : 1回戦 2 - 0 西崎 2回戦 8 - 1 潮平 決勝 7 - 5 優勝！  
 サッカー : 1回戦 1 - 2 潮平 3位決定戦 PK戦 3 - 2 高嶺 3位  
 男子バスケット : 1回戦 64 - 14 高嶺 2回戦 29 - 59 糸満  
 女子バスケット : 1回戦 23 - 60 高嶺 2回戦 23 - 35 糸満  
 男子バドミントン : 個人戦 低学年の部ダブルス 2位 宮西寿和・山城猛ペア(1年)  
 女子バドミントン : 個人戦 シングルス女子 1位 大城凜夏(2年)

## 5月10日(火)校長講話「このまちの誇り“和の心”」

3月、前任の與島康仁校長先生は引継ぎの際、次のように話されていました。「“和の心”を大切に学校経営を取り組んできました。」

全国でも「郷土への愛着度」が高い沖縄。それは、世界に誇れる自然や文化、独自の伝統があり、それが自慢だからと言われています。その自然や文化、伝統の継承には、先人たちの努力や想いが礎となっており、それが“島人ぬ宝”になっているように感じます。

沖縄では、太平洋戦争において、国内唯一の地上戦が行われた昭和20年3月から3か月にわたって吹き荒れた鉄の暴風は、一本一草を焼きつくし、山野は破壊され地形は一変しました。糸満市においては人口の40%を超える一万人余りの人々が戦死しています。特に、本三和地域の旧真壁村、旧喜屋武村、旧摩文仁村は戦死者が多く、生存者が激減したため三村合併を余儀なくされ「三和村」となった経緯があります。沖縄戦最後の地となった三和地域では、村の復興は戦死者の遺骨収集から始まったといわれ、早くから各部落に慰霊塔が造られ、のちに各都道府県や各種に慰霊碑が建立されました。

1996年(26年前)に本校は、地域の方々の協力のもと、校区内の慰霊塔(碑)やガマなどの調査を行い、平和学習教材「三和地区の慰霊塔・碑・ガマ」を発行しています。調査の結果、慰霊塔(碑)が110基、ガマ(壕)が70か所あまり確認することができています。この学習教材は、三和中学校のすばらしい財産であり、平和学習教材としても価値が高いものです。

沖縄戦終焉の地である摩文仁の丘を校区とする本校では、総合的な学習の時間において、全学年の「平和学習」を明確に位置づけています。三和地区では、多くの人々が死に絶え、多くの人々が生き延びた戦跡地の中枢であることから「生命の尊さ」や「平和を守ること」が戦後77年間、地域の先輩方や赴任なされて先生方の努力や苦勞によって受け継がれてきています。

校訓でもある“和の心”。復帰五十年にあたる今年、校長講話の中で、私は生徒に次のようなことを話しました。「“和の心”とは、お互いの事情も考えも違う人たちが協力し合い助け合って共に幸せに暮らすことを願い、努める心のこと。他人の喜びを自分の喜びとして、また他人の哀しみを自分の哀しみとして 喜びも哀しみも共に分け合って生きる心のこと。三和中はその心が引き継がれてできた学校です。その心を大事に、発信していく学校にしましょう。」